

栽培漁業センター概要

1 沿革

栽培漁業センターは、沿岸漁業振興策の一つとして栽培漁業推進の中核となる施設で、国の補助を受けて昭和56年度に着工し、同58年度に竣工した。

昭和58年4月1日をもって水産試験場の支場として位置づけられて、支場長1人、主事1人、研究員2人で発足し、同年10月25日に開所式を行い、ハマフエフキ、ミナミクロダイの親魚養成から業務を始めた。

対象種：ハマフエフキ、ミナミクロダイ、タイワンカザミ、シラヒゲウニ

2 業務

1. 魚介類の種苗生産供給
2. 栽培漁業技術の開発研究及び調査
3. 種苗生産技術の研修及び普及指導

3 機構

農林水産部漁政課

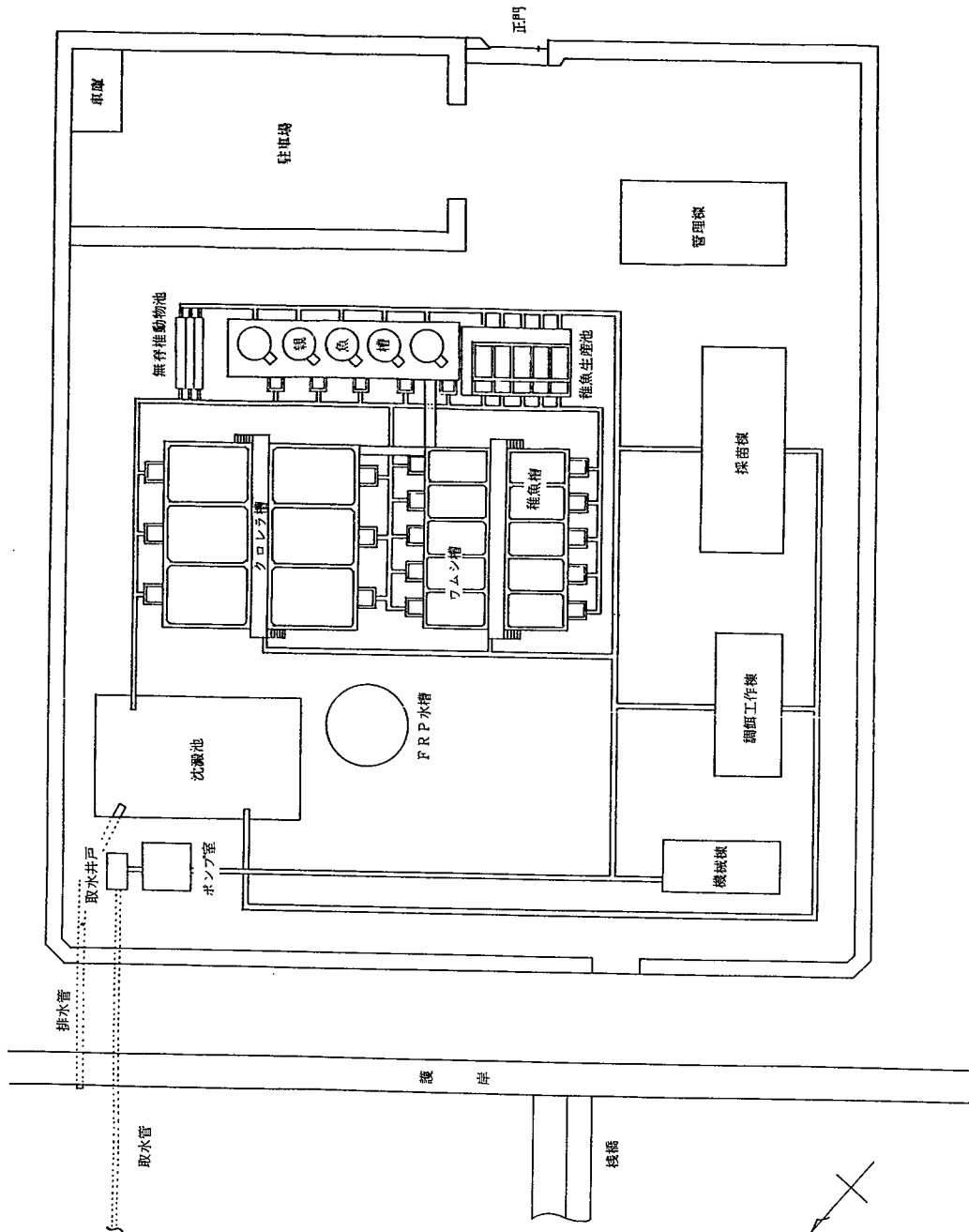
水産試験場

栽培漁業センター

支場長	金城盛徳	(58.4.1～)
主事	外間定子	(58.4.1～)
主任研究員	島袋新功	(59.4.1～)
研究員	金城武光	(58.4.1～)
”	藤本裕	(58.8.1～)
”	前田訓次	(59.4.1～)

4 施設

年度	主な施設等	金額
55	用地(11,067㎡)、飼育水槽、採苗棟等	259,225 千円
56	管理棟、機械棟、採苗棟内部設備、外壁等	95,167
57	調餌工作棟、電気施設、取水施設、配管溝等	222,894
58	恒温室等機器施設、車両、作業船、栈橋等	70,032
	計	647,318



沖縄県栽培漁業センター施設配置図